

参加アーティスト・企画内容 最終発表

「芸術祭ってなんだ?～ガラクタの星座たち」

「HOW DO WE DEFINE ART FESTIVAL?」
— WHEN BITS AND PIECES BECOME ASTERISMS —

芸術祭ってなんだ?
—ガラクタの星座たち—

ゲストディレクター
大友良英

SAPPORO
INTERNATIONAL
ART FESTIVAL 2017

2017.8.6 – 10.1

GUEST DIRECTOR
OTOMO YOSHIIDE

札幌国際芸術祭 2017

<http://siaf.jp>

SIAF

札幌国際芸術祭実行委員会では、大友良英をゲストディレクターに迎え、2017年8月6日(日)から10月1日(日)まで57日間にわたり札幌国際芸術祭2017(略称 SIAF2017)を開催します。

2016年2月に大友ゲストディレクターが発表した開催テーマは、「芸術祭ってなんだ?」でした。以降、開幕へ向けて行われてきたさまざまなイベントやレクチャー、ワークショップでこの基本的な問いかけであるテーマが取り上げられてきました。そして今回、発表された「ガラクタの星座たち」というサブテーマは、この「芸術祭ってなんだ?」という問いに対する大友ゲストディレクター自身が出したひとつの答えです。

SIAF2017では、このサブテーマにつながるアーティスト77組が既存のジャンルに収まらない作品を札幌市内約30カ所に展開していきます。星屑のように散らばる作品群を、訪れる人自らが発見し、それぞれを繋ぎ合わせ自分だけの星座をつくる、そんな芸術祭の開催に向けて日々準備が進行しています。

札幌の夏を彩る3年に一度の祭典が間もなく始まります。どうぞご期待ください。



札幌国際芸術祭事務局

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市国際芸術祭担当部内

TEL: 011-211-2314 FAX: 011-218-5154 E-MAIL: press@siaf.jp WEB: <http://siaf.jp>

開催概要

名称	札幌国際芸術祭2017 / Sapporo International Art Festival 2017 (略称: SIAF 2017)	
開催期間	2017年8月6日(日)～10月1日(日) (57日間)	
テーマ	芸術祭ってなんだ?	
サブテーマ	ガラクタの星座たち	
ゲストディレクター	大友 良英	
主な会場	モエレ沼公園 札幌芸術の森 札幌市立大学 北海道大学総合博物館 JR タワー プラニスホール mima 北海道立三岸好太郎美術館 札幌大通地下ギャラリー 500m 美術館 狸小路商店街 大通すわろうテラス 金市館ビル りんご 北海道教育大学 アーツ&スポーツ文化 複合施設 HUG AGS6・3ビル 北専プラザ佐野ビル CAI02 札幌市資料館 札幌市円山動物園	円山公園 札幌宮の森美術館 TO OV café/gallery OYOYO まち × アートセンターさっぽろ 大漁居酒屋てっちゃん UNTAPPED HOSTEL WAYA 雪結 (yuyu) Ten to Ten Hokkaido Hostel & Kitchen SappoLodge めざましサンド店 THE STAY SAPPORO 札幌ゲストハウスやすべえ 札幌コンサートホール Kitara 扇谷記念スタジオ・シアター ZOO 石山緑地 中島公園 札幌市電 ほか
WEB	http://siaf.jp	
Facebook	https://www.facebook.com/siaf2014info	
Twitter	https://twitter.com/siaf_info	
公式ブログ [Daily SIAF]	http://daily.siaf.jp	
SIAF2017ボランティアサイト	https://v.siaf.jp	
主催	札幌国際芸術祭実行委員会 / 札幌市	

メインテーマに呼応するサブテーマ ～ガラクタの星座たち～



撮影：クスマエリカ

イサム・ノグチのモエレ沼公園を「はじまりの地」に

札幌国際芸術祭の話が来たときに最初に引っかけた場所は、モエレ沼公園でした。世界的な美術家イサム・ノグチの遺作でもあり、彼のプレイグラウンドの構想が実現した唯一無二の公園です。ここはかつて広大なゴミ捨て場、まさに「ガラクタの墓場」で、イサム・ノグチがあえてその場所を選んだときのことが「人間が傷つけた土地をアートで再生する。それは僕の仕事です」でした。そもそも、札幌市民の公園にしたいという要望から公園建設がはじまったこと、札幌国際芸術祭がももとは小さな市民運動からはじまったという話が、わたしの中でいつしかリンクしていきました。

イサム・ノグチのモエレ沼公園を「はじまりの地」にしよう。そしてここに自分の作品を対峙させることから今回の芸術祭をはじめてみてはどうか、そう思うようになりました。それは自分なりの方法でイサム・ノグチが構想した「再生」を遊んでみることであります。同時に「芸術祭ってなんだ?」と問いかけることで、多くの人たちを巻き込みつつ協働で札幌でしか出来ないような芸術祭をつくっていければ…こうして、わたしなりの芸術祭の方向が見えてきました。

音楽と美術のあいだから生まれた作家たち

札幌のまちなかを挟んでモエレ沼公園の反対側にある芸術の森には、二十代のわたしに大きな影響を与えたクリスチャン・マークレーをはじめとした、音楽と美術のあいだから生まれた作家たちが作品を展示することになりました。彼らが手掛けるのは、ガラクタだったり忘れ去られたものや、見向きもされなかったものが、まったく新しい姿になって輝き出すような、そんな作品ばかりで、それははからずもイサム・ノグチの言う「再生」に呼応しているかのようです。

そのモエレ沼公園と芸術の森の共振の中心点に位置するのが札幌のまちなかです。まちなかには、音楽と美術のあいだだけではなく、テレビに市電、妖怪に食、僕らが日ごろ目にするデザインから民俗学や科学に至るまで、芸術と生活のあいだにある、ありとあらゆる広大な領域を相手にした作品たちに出てきてもらうことにしました。それは、まさに今現在の札幌や北海道そのものでもあり、僕らの住む世界そのものでもあります。そして、ここにあるものもまたモエレ沼公園に呼応するように、自分たちが捨ててきたものに向き合いつつ未来を発見していくような、そんな作品たちばかりです。

見た人の数だけ星座が生まれる

というわけで、今回の芸術祭は、とても1日では回れません。広大な範囲に、音楽と美術のあいだや、芸術と生活のあいだにあるような作品が、星屑のようにたくさん点在しています。

いち作家が作れるのは星屑の一つにすぎません。でもそんな星屑たちがあつまって星座のように繋がったときにみえてくるものこそが、イサム・ノグチの言っている「再生」なんだと思います。そして、その星座を描くことができるのは、作家ではなく、皆さん自身なんだとわたしは思っています。たった一つの星屑だってそこには尊い「再生」の物語があって、それが連なることで、より立体的な星座になっていく。でもその星座は小さくても大きくても、たとえ一つの星でも、それが見る人によってはガラクタだとしてもいいんだと思います。見た人の数だけ星座が生まれる、見た人の数だけ再生の物語がある、それが今回の芸術祭です。さあ、みなさんの星座を描いてみてください。

札幌国際芸術祭2017ゲストディレクター 大友良英

※上記テキストは抜粋です。原文はSIAF2017公式ウェブサイト (<http://siaf.jp>) をご覧ください。

札幌国際芸術祭事務局

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市国際芸術祭担当部内

TEL: 011-211-2314 FAX: 011-218-5154 E-MAIL: press@siaf.jp WEB: <http://siaf.jp>

〈札幌のまちと一緒に作る芸術祭〉

皆さんと一緒に作る「大風呂敷プロジェクト」や「さっぽろコレクティブ・オーケストラ」といったプロジェクトだけではなく、SIAF2017と、札幌市内の飲食店とのコラボレーション企画も実施します。会期中の限定メニューが登場するなど、SIAF2017は札幌のまちを巻き込んで展開していきます。



撮影：山岸 清之進

〈ジャンルの枠を超えた表現が集結〉

SIAF2017では、美術、音楽、演劇といった既存のジャンルに収まらない表現が数多く紹介されます。最先端の技術を活用した作品から、なつかしさや過去の歴史を感じさせるような作品やコレクションまで、市内のいろいろな場所で公開されます。



《遠い吠え熊》清水作(旭川)：山里穂コレクション

〈北海道・札幌の歴史を感じさせる 作品・作家たち〉

モエレ沼公園を構想したイサム・ノグチ、札幌を代表する画家 三岸好太郎、北海道のデザインのパイオニア 栗谷川健一を出展アーティストとして紹介するとともに、レトロスペース坂会館や木彫りの熊など、過去の歴史を見つめ続けてきたコレクションを通し、北海道・札幌の魅力を再考します。



モエレ沼公園

〈57日間、変化し続ける芸術祭〉

時間や環境との関わりで変化する展覧会や、1日限りのライブイベントや即興でつくられていくパフォーマンス、偶発的な事象により姿を変える作品など、芸術祭は常に変化していきます。体験を重ねるごとに新しい発見があるはずです。



At the Moment of Being Heard, サウスロンドンギャラリー, 2013
撮影：Ollie Hammick

〈パスポートでお得に何度でも〉

今回のチケットは、会期中、有料会場に何度でも入場できるパスポートです。パスポートをお持ちの方は、会場連絡バス(札幌駅～モエレ沼公園、札幌駅～芸術の森)に乗り込めるなどのお得な特典もあります。



プロジェクト一覧

大風呂敷プロジェクト

市内各所 | 札幌大風呂敷チーム×プロジェクトFUKUSHIMA!

さっぽろコレクティブ・オーケストラ

札幌コンサートホールKitara

「RE/PLAY/SCAPE」

モエレ沼公園

大友 良英+青山 泰知+伊藤 隆之 / ARTSAT × SIAFラボ / 伊藤 隆介 / 大黒 淳一×SIAFラボ / ナムジュン・パイク / 松井 紫朗 / イサム・ノグチ

「NEW LIFE：リブレイのない展覧会」

札幌芸術の森

クリスチャン・マークレー / 刀根 康尚 / EYO / 藤田 陽介 / 鈴木 昭男

アジアン・ミーティング・フェスティバル2017 札幌スペシャル

札幌芸術の森 大練習室

dj sniff / ユエン・チーワイ / 灰野 敬二 / オーレン・アンバーチ

人間の持つスケールを変容させる(タイトルは未定)

札幌市立大学 芸術の森キャンパス | 毛利 悠子

札幌と北海道の三至宝 アートはこれを超えられるか!

北専プラザ佐野ビル / 札幌市資料館

レトロスペース坂会館別館 / 大漁居酒屋てっちゃんサテライト / 北海道秘宝館「春子」 / 三松正夫の昭和火山火画 / 北海道の木彫り熊 / 赤平住友の炭鉱遺産:坑内模式図

「Intention and substance」

北専プラザ佐野ビル | 端 聡

DOMMUNE UNIVERSITY OF THE ARTS THE 100 JAPANESE CONTEMPORARY ARTISTS

season 5(略称: DOMMUNE SAPPORO!)

北専プラザ佐野ビル / CAI02 | 宇川 直宏

藻岩山の山頂と、すすきのの地下。札幌を照らす2つの作品

AGS6・3ビル / 藻岩山山頂付近 | 堀尾 寛太

《わからないものたち》

金市館ビル / りんご | 梅田 哲也

狸小路TV

狸小路商店街 / 大通すわろうテラス | 今野 勉

市電プロジェクト～都市と市電～

札幌市電 | 指輪ホテル

《うろ・うろ・うろ》

北海道教育大学 アーツ&スポーツ文化複合施設 HUG | さわ ひらき

中崎透×札幌×スキー「シュプールを追いかけて」

札幌大通地下ギャラリー 500m美術館 | 中崎 透

火ノ刺繍『石狩シーツ』の先へ

北海道大学総合博物館 | 吉増 剛造

札幌デザイン開拓使 サッポロ発のグラフィックデザイン

～栗谷川健一から初音ミクまで～

JRタワープラニスホール | 栗谷川健一

札幌市資料館を拠点としたアートプロジェクト

札幌市資料館 | タノタイガ

NMAライブ・ビデオ アーカイブ

札幌市資料館

テラコヤーツセンター「土砂」

札幌市資料館 | テニスコート

「旅」をテーマにした新作

札幌市円山動物園 | クワクポリョウタ

コタンベッププロジェクト

円山公園 | 五十嵐 淳

石川直樹展「New Map for North」

札幌宮の森美術館 | 石川 直樹 / アヨロラボラトリ

岸野雄一DJプロジェクト

会場未定 | 岸野 雄一

I HAVE a DREAM～ひがし町パーカッションアンサンブル

北大マルシェ、札幌市電、札幌市資料館ほか

SIAF2017 オフィシャルバー OYOYO

OYOYO×まちアートセンターさっぽろ

中島公園百物語

札幌市こども人形劇場こぐま座前の広場 | 斎藤 歩 / 沢 則行

モバイルアースオープン

旭山記念公園ほか

ゲストハウス×ギャラリープロジェクト

「アートは旅の入り口」

UNTAPPED HOSTEL / WAYA / 雪結 (yuyu) /

Ten to Ten Hokkaido Hostel & Kitchen / SappoLodge /

THE STAY SAPPORO / めざましサンド店 / 札幌ゲストハウスやすべえ

相川 みつぐ / 齊藤 幹男 / 富士 翔太郎 / 白濱 雅也 / 酒井 広司 /

上ノ 大作 / 東方 悠平 / ワビサビ / 南 阿沙美 / 鈴木 悠哉

マレウレウ祭り in SIAF2017

～目指せ100万人のウポポ大合唱～

札幌芸術の森 野外ステージ

マレウレウ / OKI / 大友 良英 / 原田 郁子 / 鄭捷任 / 陳建年 /

吳昊恩 / 章素琳 / 荻部 絲

raprap

扇谷記念スタジオ・シアター-ZOO

マレウレウ / チョン・ヨンドゥ / 東海林 靖志 / 渡辺 はるか / 有泉 汐織

Asian Sounds Research Presents

「OPEN GATE 2017」

～動き続ける展覧会 An ever-changing exhibition

石山緑地

Sachiko M / 米子 匡司 / 水内 義人 / chi too / Adam Kitingan /

WinWin / さや / 植野 隆司 / 樋口 勇輝 / 渡部 勇介 ほか

mima 北海道立三岸好太郎美術館 開館50周年記念 特別展

大友良英アーカイブ お月さままで飛んでいく音 +

三岸好太郎ワークス 飛び出す事ハ自由ダ

mima 北海道立三岸好太郎美術館 | 大友 良英 / 三岸 好太郎

特別協力プログラム

マームとジプシー 10th Anniversary Tour (札幌公演)

札幌市教育文化会館

○お問い合わせ

札幌国際芸術祭事務局(広報担当: 石田・岡本・山岸)

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市国際芸術祭担当部内

TEL: 011-211-2314 FAX: 011-218-5154 E-MAIL: press@siaf.jp Web: <http://siaf.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/siaf2014info> Twitter: https://twitter.com/siaf_info

